

肺がん患者における周術期口腔機能管理の効果に関する研究に関する情報公開

1. 研究の対象

2015年4月から2018年3月に当院で肺がんの手術を受けられた方

2. 研究目的・方法・研究期間

【目的】

肺がんに対して手術療法を行う場合、口腔内の衛生状態はその治療成績に影響を与えるとされています。手術療法後の創部の感染や、肺炎が代表的なものです。一度これらの事象が発生すると、再手術が必要となったり、予定の治療が完遂できないといった治療成績に関わる問題が生じるばかりでなく、追加の治療が必要となったり入院期間が延長するといったQOLの低下をきたします。そのため、本研究では、肺がん症例における手術前後の口腔ケアの有用性を検討することを目的としています。

【方法】

当院呼吸器外科にて肺がんに対しての手術決定後に口腔ケア目的に当院歯科口腔外科を受診した方、および当院歯科口腔外科を受診していない方を電子カルテ上から抽出し必要な情報（病歴、術後肺炎の発症の有無、血液検査結果、口腔内診査結果、画像検査結果）を収集します。得られたデータをもとに、口腔ケアの有用性を検討します。

【研究期間】

実施承認日～2022年3月31日

【研究組織】

1 研究代表者

西知多総合病院歯科口腔外科 歯科口腔外科部長 西川雅也

2 研究責任者

名古屋大学医学部附属病院歯科口腔外科 助教 山口 聡

3 研究分担者

名古屋大学大学院医学系研究科頭頸部感覚器外科学講座顎顔面外科学
教授 日比英晴

名古屋大学医学部附属病院歯科口腔外科 講師 山本憲幸

名古屋大学医学部附属病院歯科口腔外科 医員 中道瑛司

名古屋大学医学部附属病院医療技術部臨床工学歯科部門 歯科衛生士 村瀬由加里

名古屋大学医学部附属病院医療技術部臨床工学歯科部門 歯科衛生士 齋藤あゆみ
名古屋大学大学院医学系研究科病態外科学講座呼吸器外科学 教授 芳川豊史
名古屋第二赤十字病院歯科口腔外科 歯科医師 坂倉寛紀
三重大学医学部附属病院呼吸器外科 病院准教授 川口晃司

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、術後肺炎発症の有無、血液検査結果、口腔内診査結果、画像検査結果
等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内
で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の
方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出く
ださい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。ただし、学会、論
文などに発表した後にデータを削除することは出来かねますのでご了承ください。

研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学大学院医学系研究科頭頸部感覚器外科学講座顎顔面外科学
〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町 65
TEL：052-744-2348

名古屋大学医学部附属病院 歯科口腔外科 助教 山口 聡
名古屋大学医学部附属病院 歯科口腔外科 医員 中道瑛司

研究責任者：

名古屋大学医学部附属病院 歯科口腔外科 助教 山口 聡